

Sports Fukushima

スポーツふくしま

36
2016.12

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんな
スポーツを!
Let's play sports together!

巻頭言

スポーツ振興にご協力を…

全国的な流れのなかで、県内にも2014年までに以下のプロスポーツチームが誕生しました。それは、サッカーの「福島ユナイテッドFC」、アイスホッケーの「東北フリーブレイズ」、バスケットボールの「福島ファイヤーボンズ」、そして野球の「福島県民球団・福島ホープス」の4つです。

このうち、創立が一番早かった「福島ユナイテッドFC」について話を伺いました。対応して下さったのは、取締役常務の鈴木暁夫氏です。新しい経営体制が確立したのは、2011年2月、直後にあの東日本大震災が発生し、放射能の影響で1/3の選手が辞めたほか、ホームゲームも県内で開催できない状況が続いたため、4月にはチームの解散までも考えたそうですが、残留した選手の強い希望と何と^{たぎ}いても、震災に負けてなるものかという若い経営陣の滾る情熱が存続を決定づけました。

運営会社である(株)AC福島ユナイテッドのオフィスは福島市飯坂町にあり、代表取締役は鈴木勇人氏で、資本金は3,900万円、9名の社員と契約社員(監督・選手)40名体制、スポンサー数400社、サポーター数3,800人、クラブ理念「スポーツを通して「福島」を元気にします、「子供たち」に夢を提供します、世界に誇れる「福島」を創造します」を掲げて活動が続けていますが、J3に所属した2016年度の成績は、7勝14敗9分け、勝ち点30で16チーム中14位、2年続けて7位だったのでベスト5を狙いましたが目標には届きませんでした。経営面では、初年度こそ200万円の赤字となりましたが、営業努力もあって翌年から黒字に転換、14年には新会社設立前の累積損失も解消して、15年度には100万円の純利益を計上するまでにしました。

現在、福島ユナイテッドFCでは普及と育成に力を入れていて、幼稚園児から中学生までのサッカー教室を数多く開いているほか、アカデミーとしてすでに活躍中のU-12(12歳以下)とU-15のチーム以外に、将来ユナイテッドでプレーできる選手を育てるU-18

のチーム結成が急がれます。さらに、現時点での最大の課題であるJ2への昇格、専用スタジアムの建設という難関が待ち受けていますが、2022年を目標とする鈴木常務の視界に、しっかりと捉えられていると感じました。

4つのプロチームとも、引き続き厳しい試練に立ち向かっていくことと思いますが、県民あげて応援しながらこれからの飛躍を見守っていきたいと思います。

ところで、競技力の向上や普及に資金を必要とするのは、アマのスポーツ界でも同様です。今から20年前、福島国体で一区切りがついた翌年の1996年から福島県体育協会では、県民スポーツの振興並びに競技力対策事業に使用する目的で、「福島県県民スポーツ振興協力会」を設立し、募金を開始しました。スタート時は順調に推移していましたが、97年の1,300万円余りをピークに年々減り続け、2012年には300万円を切る有様となりました。

県体協が公益財団法人に移行した13年度からは新たに「賛助会員」の入会募集を始め、前会長宗形守敏氏のご尽力により800万円台まで回復しました。そして、昨年度新しく会長に就任した須佐喜夫氏が強いリーダーシップを発揮され、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに本県から1人でも多くの選手が出場し活躍できるようバックアップすること、原子力災害の影響で、屋外活動が制限された結果、体力の低下した児童・生徒と肥満児の解消対策のために募金目標を1億円と定め、鋭意努力を続けております。お陰さまで、昨年11月からの1年間で1,600万円余りの賛助金の申し込みをいただきましたが、まだ十分とは言えません。1社でも多くの企業、1人でも多くの県民の皆さまにこの趣旨をご理解いただき、県内のスポーツ振興のため、この紙面をお借りして伏してご協力をお願いする次第です。



公益財団法人福島県体育協会
副会長 佐藤 紀男

も

1 巻頭言

く

2 第71回 国民体育大会成績 競技別成績・活躍選手と監督の寄稿

じ

9 親子体操教室

インフォメーション

10 あそんで体力アップアップ事業

11 ふくしまから世界へ!

「ふくしま」アスリート強化支援事業

13 日体協公認アスレティックトレーナー

東北・北海道ブロック連絡会議・セミナー
兼 県体協認定アスレティックトレーナー養成講習会
県体協認定スポーツ栄養士養成講習会

14 うつくしま広域スポーツセンター事業の様子

16 みんなでつくろう総合型!

総合型地域スポーツクラブ!

17 リオデジャネイロパラリンピックボート競技事前合宿実施
東京2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

18 県体協賛助会員名簿・賛助会員加入のお願い
編集後記

【表紙写真説明】

第71回国民体育大会(写真提供:福島民友新聞社)

●左:バスケットボール(佐藤京香選手)

●中央:陸上(遠藤日向選手)

●右上:ウエイトリフティング(矢野大輔選手)

●右下:ソフトテニス女子チーム

第71回 国民体育大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	H28.1/27(水)～1/31(日)	岩手県 盛岡市 花巻市 二戸市	佐藤 憲保	2	11	4	34	49
	スキー競技会	H28.2/20(土)～2/23(火)	岩手県 八幡平市	渡部 孝美	1	10	10	46	66
本大会		H28.10/1(土)～10/11(火) (会期前競技:9/4(日)～11(日))	岩手県 北上市	須佐 喜夫	36	17	71	438	526

2 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		11点	10点	21点	23位	8点	10点	18点	18位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	13位	—	—	—	—
スキー競技会		10.5点	10点	20.5点	14位	0点	10点	10点	17位
本大会		422点	370点	792点	33位	161.5点	330点	491.5点	28位
合 計		443.5点	400点	843.5点	35位	169.5点	350点	519.5点	31位

※冬季大会(スケート・アイスホッケー・スキー競技)の入賞状況は、スポーツふくしま35号をご参照ください。

第71回 国体本大会競技別成績・活躍選手と監督の寄稿

●水泳競技 競技得点 9点 天皇杯 37位 皇后杯 29位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年男子	A50m自由形	6	3	佐 藤 隆之介	会津工業高等学校 3年
少年女子	A100m自由形	8	1	国 分 香 奈	日大東北高等学校 3年
少年女子	A50m自由形	4	5	国 分 香 奈	日大東北高等学校 3年



水泳 佐藤隆之介選手 国分香奈選手

●ホッケー競技 競技得点 20点 天皇杯 12位 皇后杯 14位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年男子		5	20	菊 池 拓 哉	修明高等学校 3年
				益 子 大 成	修明高等学校 3年
				白 坂 健 人	修明高等学校 2年
				鈴 木 海 斗	修明高等学校 2年
				菊 池 拓 也	修明高等学校 2年
				須 藤 敬 介	修明高等学校 2年
				鈴 木 大 輔	修明高等学校 2年
				深 谷 健 矢	修明高等学校 2年
				山 口 泰 輝	修明高等学校 2年
				八 木 海 斗	埼玉工業高等学校 2年
				菊 池 隼一朗	修明高等学校 1年
				横 山 卓 実	修明高等学校 1年
				松 本 圭 太	修明高等学校 1年



ホッケー少年男子

●相撲競技 競技得点 7.5点 天皇杯 12位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	団体	5	7.5	大 波 渥	東洋大学 4年
				斎 藤 健	東邦銀行
				薄 勇 樹	相馬農業高等学校(教)



相撲 大波渥選手



バレーボール成年男子



ウエイトリフティング 官野由佳選手



ライフル 國分翔麻選手

●バレーボール競技 競技得点 7.5点 天皇杯 19位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		7	7.5	信成健人	あさか開成高等学校(教)
				桑村拳也	福島大学 3年
				佐藤俊介	NOKメタル(株)
				羽染圭佑	光南高等学校(教)
				酒井大祐	サントリーサンパーズ
				狩野裕大	東邦銀行
				飯塚渉太	東邦銀行
				阿部友幸	新地町役場
				飯塚剛史	いわき中央警察署
				阿部航平	福島大学 4年
				渡邊真琴	平工業高等学校(教)
				神園時	福島大学 4年

●ウエイトリフティング競技 競技得点 45点 天皇杯 11位 皇后杯13位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	53kg級スナッチ	3	6	吉田真弘	いしかわりハビリテーションケアセンター
	53kg級C&J	1	8	吉田真弘	いしかわりハビリテーションケアセンター
	62kg級C&J	8	1	黒江雄治	川俣高等学校(職)
	69kg級スナッチ	3	6	近内三孝	日本大学 3年
	69kg級C&J	5	4	近内三孝	日本大学 3年
少年男子	77kg級スナッチ	1	8	穴戸大輔	福島工業高等学校 3年
	77kg級C&J	1	8	穴戸大輔	福島工業高等学校 3年
	105kg超級スナッチ	8	1	長谷川達	勿来工業高等学校 3年
女子	53kg以下級スナッチ	6	3	官野由佳	JA福島みらい

●ライフル射撃競技 競技得点 7点 天皇杯 32位 皇后杯 36位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	ビームピストル(40発)	2	7	國分翔麻	日大東北高等学校 3年

第71回いわて国体・東北総体(東北・北海道ブロック予選会)を振り返って

福島県ライフル射撃競技 監督 捧 勝美

このたびの「2016希望郷いわて国体 第71回国民体育大会」では「少年男子ビームピストル40発競技」で國分翔麻(日大東北高校)選手が2位入賞を果たすことが出来ました。東北総体・国体に参加するにあたり福島県体育協会競技担当の宗形先生はじめスタッフの皆様、県ライフル射撃協会・ご家族の方々のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

ライフル射撃競技は、東北・北海道ブロック予選会を兼ねた東北総体で、種目により2枠から4枠(2県から4県)の出場枠を争います。ここ数年50m種目成年男子の予選敗退が続いていましたが、今年度は成年男女の50m種目全種目で予選通過、特に成年女子の菊地映美(日大工学部)選手は、宮城県岩手県のナショナルチームの選手を破り1位で国体出場権を獲得するなど、いわて国体を前に成年・少年を問わず各選手が最高のパフォーマンスを発揮し、総合成績2位で東北総体を終えることが出来ました。

当ライフル射撃協会では以前から成年・少年の垣根が無く、多くの場合遠征や合宿を「チーム福島」として活動しています。昨年秋から強化の一環として、対外試合に自費参加も含め数多く参加者を募り、経験を重ねてきた成果が現れてきたものと感じております。

今回の国体で2位入賞を果たした國分翔麻選手も今年春から日本ライフル射撃協会「MP A選手」(メダルポテンシャルアスリート)に登録され、海外試合も含め数多くの対外試合を経験しました。東アジアユースエアガン大会ではファイナルに進出し、6位から巻き返し4位入賞、そうした経験と数々の幸運が重なり、いわて国体では本戦(予選)7位で通過、ファイナルでは第一ステージ6位から追い上げ2位入賞につながったものと思います。

コーチ席にいた私にも、その緊張と集中力が伝わる最高の射撃でした。

競技終了後悔し涙を流した選手もいましたが、トップ選手の射撃を肌で感じ、来年もまた国体のステージに立ちたいと意欲を見せる選手たちの様子に頼もしさを感じました。

最後になりますが、今大会にあたり関わっていただいたすべての皆様に感謝申し上げ大会報告とさせていただきます。



●バドミントン競技 競技得点 48点 天皇杯 3位 皇后杯 4位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年男子		1	24	山 澤 直 貴	富岡高等学校 3年
				金 子 真 大	ふたば未来学園高等学校 2年
				久保田 友之祐	ふたば未来学園高等学校 2年
少年女子		1	24	仁 平 菜 月	富岡高等学校 3年
				吾 妻 咲 弥	富岡高等学校 3年
				高 橋 明日香	ふたば未来学園高等学校 2年



バドミントン少年男子 少年女子

●ソフトテニス競技 競技得点 35点 天皇杯 8位 皇后杯 4位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年女子		2	35	大 羅 夢 真	住友ゴム工業(株)
				大 槻 麗	住友ゴム工業(株)
				小 谷 菜津美	住友ゴム工業(株)
				小 山 舞	早稲田大学 1年
				鈴 木 梨 沙	明治大学 1年



ソフトテニス 鈴木梨沙選手

●レスリング競技 競技得点 10.5点 天皇杯 37位 皇后杯 9位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	フリー 65kg級	3	5.5	前 田 翔 吾	クリナップ(株)
少年男子	グレコ74kg級	5	2.5	阿久津 裕 人	田島高等学校 3年
	グレコ120kg級	5	2.5	壽松木 勇 貴	喜多方桐桜高等学校 3年



レスリング 前田翔吾選手

●バスケットボール競技 競技得点 12.5点 天皇杯 14位 皇后杯 9位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年女子		5	12.5	梅 津 沙 妃	福島西高等学校 3年
				渡 邊 悠	福島西高等学校 3年
				成 田 瑞 穂	福島西高等学校 3年
				松 本 唯	福島西高等学校 3年
				佐 藤 京 香	福島西高等学校 3年
				吉 田 早 希	福島西高等学校 3年
				小 泉 菜 生	郡山商業高等学校 3年
				面 川 美 空	郡山商業高等学校 3年
				佐 藤 里 奈	郡山商業高等学校 3年
				岡 部 優 花	郡山商業高等学校 3年
				佐 藤 由 佳	郡山商業高等学校 2年
				須 藤 郁 帆	郡山商業高等学校 2年



バスケットボール少年女子

みんなでつかんだ5位入賞

バスケットボール競技 福島西高等学校 3年 梅津 沙妃

私たちは、第71回国民体育大会バスケットボール競技において、少年女子5位という成績をおさめることができました。

今年度の少年女子チームは、福島西高校と郡山商業高校の2チームで編成されました。両チームは、今年、県大会・東北大会の決勝カードで対戦しました。お互いが常にライバルとして見ていたため、強い闘争心を抱いていました。私は、このチームでキャプテンを務めることになり、両校が合併してうまくいくのか、逆にどんなプレーを生み出せるのかと不安と期待が入り混じっていました。数少ない練習会では、雰囲気よく練習をし、お互いがどんなプレーをしたいのか、コミュニケーションを取りながら、ライバルから仲間、良いチームへと変わっていきました。8月末のミニ国体では、優勝し、東北代表として本国体への出場権を得ることができました。

本国体に向けては、自分たちより背の高いチームへの対策を第1にやりました。強豪である、愛知県や岐阜県には190cm近いセネガル人がいるため、チームディフェンスで相手の得点源を抑える練習をしました。普段はライバルである西高と郡商の力を合わせて、強豪チームに勝つという気持ちで大会に臨みました。1回戦の徳島県とは79-61で勝利し、2回戦の岐阜県に挑みました。序盤から積極的に攻撃をし、セネガル人を中心にディフェンスを頑張りました。しかし、高さを起点に攻撃され、守りきれず、56-81で敗れてしまいました。改めて全国の壁の高さを実感し、もっとレベルアップをしなければ通用しないと強く思いました。

この国体チームが結成されて、約3か月間、12人にとって本当に中身の濃い時間になったと思います。また、さまざまな事を学び、これからの競技人生、将来への良い経験となりました。最大のライバルであったからこそ、最高のチームができ、私は本当に楽しかったです。今後は、お互いがそれぞれの目標に向かって頑張っていきます。

県民の皆様、ご声援ありがとうございました。





ボウリング成年女子



ソフトボール少年男子



馬術 吉田賢人選手

●ボウリング競技 競技得点 30点 天皇杯 11位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	団体(2人チーム)	3	18	遠藤 邦夫 伊藤 丈	インテリア・エンドー (株)東北装美
成年女子	団体(4人チーム)	7	6	大河内 未来 斎藤 夏	郡山女子大学 2年 青森中央学院大学 1年
				石塚 香織	(株)維芯
	団体(2人チーム)	7	6	鈴木 英子 斎藤 夏	日立オートモティブシステムズ(株) 青森中央学院大学 1年
				石塚 香織	(株)維芯

●ソフトボール競技 競技得点 20点 天皇杯 17位 皇后杯 13位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	20	藤島 尚樹	須賀川高等学校 3年
				岡部 樹滉	須賀川高等学校 3年
				大木 和樹	須賀川高等学校 3年
				竹島 宗希	須賀川高等学校 3年
				蛭田 正斗	須賀川高等学校 3年
				根本 優	須賀川高等学校 2年
				薄井 崇渡	須賀川高等学校 2年
				伊藤 大樹	郡山北工業高等学校 3年
				渡邊 航生	郡山北工業高等学校 3年
				影山 諒	郡山北工業高等学校 3年
				榎本 良	郡山北工業高等学校 3年
				遠藤 優	郡山北工業高等学校 3年
				須賀 祐一	安積黎明高等学校 3年

●馬術競技 競技得点 29点 天皇杯 11位 皇后杯 8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	自由演技馬場馬術	7	2	杉本 隆雄	stable FEDERA
	標準障害飛越	5	4	吉田 賢人	成田乗馬クラブ
	トップスコア	8	1	吉田 賢人	成田乗馬クラブ
成年女子	馬場馬術	3	6	杉本 晃美	stable FEDERA
	二段階障害飛越	6	3	横山 奈緒美	福島県馬術連盟
	トップスコア	7	2	杉本 瑞生	御殿場西高等学校 2年
少年	スピードアンドハンディネス	2	7	杉本 瑞生	御殿場西高等学校 2年
	二段階障害飛越	5	4	梅津 頼	福島東稜高等学校 3年

馬との出会い

馬術競技 御殿場西高等学校 2年 杉本 瑞生

私は第71回国民体育大会(いわて国体)馬術競技において、少年の部スピードアンドハンディネス競技第2位、トップスコア競技第7位と二種目出場して良い成績を収めることが出来ました。

私が馬術を始めたのは中学校入学式直後からで、父とこの時期に始める約束をしていました。父は乗馬クラブを経営していたので、自然な形で馬の世界に入りました。

高校1年生になるまでは、正直馬に乗るのが嫌で苦痛でした。毎日毎日レッスンを受けているのに全く上達せず成果が表れない日々を過ごし、そして試合に出るとは失権が続きました。心が折れていました。

高校1年の5月、みかねた父が私に合う馬を見つけてきてくれました「サンドウィッチ・コア」その馬の名前です。暴れ馬ですが、絶対に飛んで帰ってこれる。障害前で止まらずゴールできる馬だったので自信を持って乗ることができました。

この馬と共に出場した初めての試合でゴールをきれた喜びと感動は今でも忘れません。

昨年もこの馬と共に出場して二種目とも入賞できました。そして今回の国体に至りました。こうして国体で準優勝・入賞が出来たのも、馬とずっと支えてきてくれた家族、友人、そして県民の皆様のおかげです。心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。



(福島民友新聞掲載)

●ハンドボール競技 競技得点 25点 天皇杯 13位 皇后杯 10位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	12.5	熊田 朋 浩	(株)マイナビ福島支社
				吉田 雄 貴	国士舘大学 4年
				山田 真太郎	(有)オオジオート
				佐藤 洋 聡	プルデンシャル生命保険(株)
				阿部 奎 太	国士舘大学 1年
				秋山 喜 彦	大崎電気工業(株)
				境田 昂 弘	郡山市立郡山第一中学校(教)
				古和田 拓	郡山高等学校(教)
				宗像 圭 太	メーキングサービス
				鈴木 稔 也	興亜紙器(株)
成年女子		5	12.5	小松 伸 也	福島大学 3年
				矢内 貴 大	富士ゼロックス栃木(株)
				星 光 子	学法石川高等学校(教)
				大河内 香	郡山東高等学校(教)
				緒方 蒔 奈	富国生命保険相互会社
				矢島 南 海	国士舘大学 2年
				関根 志 歩	国士舘大学 3年
				山内 梨 菜	国士舘大学 2年
				鈴木 沙弥香	日本体育大学 3年
				遠藤 優	日本体育大学 3年
				上坂 泉 美	桐蔭横浜大学 4年
				渡辺 茉 那	国士舘大学 1年
				鈴木 舞奈愛	東北福祉大学 2年
				猪合 瑞 希	国際武道大学 2年



ハンドボール 吉田雄貴選手



山岳成年女子

●山岳競技 競技得点 3点 天皇杯 25位 皇后杯 17位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	ボルダリング	8	3	菅野 秋 乃	トレイルロック
				鈴木 菜 友	社会福祉法人安積愛育園

子連れ国体

福島県成年女子監督(前福島県山岳連盟会長) 尾形 一幸

いわて国体初日の10月7日に岩手山が初冠雪しました。その手がかじかむ氷雨と低温の厳しい環境下で、山岳競技成年女子が久々に入賞を果たしました。これは兵庫国体の山岳競技成年男子入賞以来10年ぶりの快挙です。山岳競技は従来の縦走・踏査・登攀の3種目の時まで、地道な選手育成と選手の努力が功を奏して山岳福島の名は全国に轟いていました。しかし山岳競技が大分国体からスポーツクライミングに特化されると関東・関西のクライミングジム出身者で上位が占められるようになりました。今やクライミング競技人口は全国で60万人を上回り2020年の東京オリンピック種目にスポーツクライミングが採択され、益々スポーツクライミング熱は高まる気配を見せています。

クライミング競技は選手2名で人工登攀壁とホールドで構成されたルートを制限時間内に完登目指して競う団体競技で、リード競技とボルダリング競技の2種目があります。リード競技は傾斜のある15mの高さの人口壁で登攀技術を競います。ボルダリング競技は4種類の課題を制限時間内にいかに完登できるかを競います。

今回の国体山岳(クライミング)競技も世界選手権やジャパンカップのトップアスリートで占められていたが、福島県成年女子は、ボルダリング競技で予選4位、決勝8位の成績を残しました。これは偏に選手の精進と県体協はじめ多くの皆様のご支援とご指導の賜物と感謝申し上げる次第であります。

いわて国体で成年女子が入賞した背景には見逃してはならない隠れたお話がありました。それはこのチームに3歳と6歳の子連れ選手がおり、このママさんチームを期間中ずっと、応援団が一丸となって子供の世話をし支えていたことであります。国体には託児所がないので前回のわかやま国体でも子連れで子供の世話をしながら参加されました。このような厳しい条件下で全国の強豪に立ち向かい入賞を果たしたことは称賛に値します。本当にお母さんは強かったです。輝いていました。

これを機に若手の選手とコーチ陣の育成強化と必要な環境整備を進め、幅広い年齢層に愛されるクライミング競技として充実拡大を図って行きたいと思います。





フェンシング成年男子

●フェンシング競技 競技得点 12点 天皇杯 15位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フルーレ	8	3	田代大幸	佐藤商事(株)
				佐藤直輝	川俣町役場
				佐藤篤志	法政大学 3年
	サーブル	6	9	田代大幸	佐藤商事(株)
				佐藤直輝	川俣町役場
				佐藤篤志	法政大学 3年



自転車女子チームスプリント

●自転車競技 競技得点 37点 天皇杯 8位 皇后杯 6位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	1kmタイム・トライアル	4	5	橋本壮史	中央大学 3年
	4kmチーム・パーシュート	8	3	久保田元気	総合南東北病院
				緑川竣一	福島県自転車連盟
				石井洋輝	白河実業高等学校 2年
女子	ケイリン	6	3	鶴沼利久	白河実業高等学校 3年
	チーム・スプリント	5	12	藤巻絵里佳	日本競輪選手会
				藤巻絵里佳	日本競輪選手会
少年男子	スクラッチ	2	7	森彩桜	白河実業高等学校 2年
		2	7	根本雄真	学法石川高等学校 3年
	個人ロード・レース	2	7	鶴沼利久	白河実業高等学校 3年



剣道成年女子

●剣道競技 競技得点 7.5点 天皇杯 21位 皇后杯 11位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		5	7.5	佐藤みのり	法政大学 1年
				若松千春	葵高等学校(教)
				松尾智美	郡山女子大学附属高等学校(教)

いわて国体5位入賞

剣道成年女子 監督 佐藤 さとみ

福島県成年女子は、厳しい東北ブロック予選を勝ち抜き、2年連続の国体出場となりました。

今回のメンバーは、先鋒が佐藤選手(法政大学1年)。成年女子の代表は初めてですが、高校時代の成績はインターハイ県大会2年連続団体優勝、個人戦でも2年連続3位という実績があります。中堅の若松選手(福島県立葵高校教員)・大将の松尾選手(郡山女子大学附属高校教員)は 昨年に引き続きの国体出場となり、それぞれ各種全国大会の代表として活躍するベテラン選手です。

国体まで数回の強化合宿を組みましたが、それぞれの日程の都合で全員が揃うのは難しいため、各人がチームでの自分の役割を確認しながら強化を図りました。

一回戦、大阪府との対戦でした。選手は全員が警察官で、全日本女子選手権覇者、そして世界大会覇者のいる強豪です。

先鋒戦が始まりました。相手は山本選手で、会場注目の一戦です。相手の心理を読みあひながらの戦いになり、両選手ともなかなか技が出せません。あっという間に5分が過ぎ、延長戦となりました。若い佐藤選手が積極的に打って出ますが、見切られて一本にはなりません。試合開始から20分が過ぎました。山本選手の手元が一瞬浮いたところに、佐藤選手の気迫の引き胸が決まりました。23分45秒での決着。「一本の重み」を知る選手同士の戦いは、福島の勝利となりました。

中堅戦も時間内では決まらず、延長になりました。ここを落とせば大阪府の敗戦が決まってしまうため、酒匂選手は積極的に若松選手を攻め立てます。しかし、若松選手は相手の動きにつられません。見事にとらえた鋭い小手が、福島県チームに大きな勝利をもたらしました。

松尾選手と石田選手は、大将らしく堂々とした戦いを見せました。チームが勝利しても集中力を切らさない松尾選手は、この一戦を引き分けで収めました。

二回戦は、来年の国体開催県であります愛媛県です。その戦いぶりから強化していることが十分感じられる勢いのあるチームでした。残念ながらその勢いを止めることができず、1勝2敗で負けてしまいました。

5位入賞。福島県成年女子は、近年国体には出場するのですが、一回戦の壁を突破することが出来ませんでした。今回の成績は、選手たち個人の力をうまくチームの力に変えることができた結果だと思います。「全国を相手に福島県の代表としてどういう戦い方を見せられるか」ということを常に意識することが必要だと感じました。

今回このような結果が得られたのは選手の努力はもちろんのこと、応援指導頂きました関係者の方々のおかげと感謝申し上げます。



●カヌー競技 競技得点 8点 天皇杯 32位 皇后杯 30位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	カヌー・スプリント・カヤックシングル(200m)	7	2	鈴木 康大	(株)久野製作所
成年男子	カヌー・スプリント・カヤックシングル(500m)	3	6	鈴木 康大	(株)久野製作所

●空手道競技 競技得点 2.5点 天皇杯 27位 皇后杯 22位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	組手個人軽量級	5	2.5	松岡 廉	東北学院大学 2年

●陸上競技 競技得点 46点 天皇杯 15位 皇后杯 19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	400m	2	7	武石 この実	東邦銀行
	100m H	6	3	安部 遥香	福島大学 4年
	ハンマー投	4	5	佐藤 若菜	東邦銀行
	5000m	2	7	石井 寿美	ヤマダ電機
少年男子	A400m H	5	4	浜尾 京太	平工業高等学校 3年
	A5000m	1	8	遠藤 日向	学法石川高等学校 3年
	Aやり投	8	1	馬場 竜矢	会津農林高等学校 3年
	共通円盤投	3	6	佐藤 皓人	日大東北高等学校 2年
	B走幅跳	4	5	末 永 淳	福島工業高等専門学校 1年



カヌー 鈴木康大選手



空手 松岡廉選手



陸上 末永淳選手

国体三連覇

陸上競技 学法石川高等学校 3年 遠藤 日向

いわて国体陸上競技少年A5000mに出場した私は、長距離種目での三連覇を達成することができました。高校一年のときは少年B3000mに出場しました。その時の私は調子が悪かったわけではなく自己ベストが遅かった為に、優勝候補にはなっていませんでした。でも、それがとても悔しかったのを今でも覚えています。一年の時は長崎県で国体が行われました。調子も良く勝てる自信がありました。レースがスタートし、いつも全国で戦うライバル達がレースを引っ張り、最後の一周は熊本県代表の神林勇太選手との一騎打ちになり、ラスト100mの所で抜き去り優勝することができました。それから、高校二年の時は少年A5000mに出場しました。5000mになると留学生が出場してくるので勝てるかどうかわかりませんでした。一つ上の先輩である田母神一喜選手も800mで出場しており、二人での目標を決めていました。それは二人で日本一になることでした。夏に行われた和歌山インターハイの5000mで三位、田母神先輩も800mで三位と悔しい思いをしていました。国体の日程では、800mが先に行われ、その次の日に5000mという日程でした。そして少年共通800m決勝では先輩がインターハイでのリベンジを果たし優勝をしました。次の日に、私の出番がきました。レースの展開としては3000mを通過した時に、留学生がペースを一気に上げるというレースでした。最初はみんな反応したものの途中から私と留学生との一騎打ちになり、一気にペースが上がったことによって私も本当に辛かったです。しかしラスト200mでスパートをかけ、優勝することができました。優勝できたことはもちろん嬉しかったのですが、何より嬉しかったのは「二人で日本一を掴んだ」ことです。ゴールし終わった後二人で抱き合ったことは今でも忘れられません。そしてその時から思っていたことは来年も優勝し、「三連覇をする」ということでした。そして今年、一つ上の強かった先輩達が抜け、私はスピードをつけるメニューを一人で練習をしなければならぬと思い込んでいました。最初は400mのインターバルを68秒で10本もできないほど弱く体力が足りてないと感じ本当にどん底に落とされた感じでした。ところが、そんな私を助けてくれたのが後輩や同級生、「仲間」という存在でした。私と同じペースで走るというわけではないのですが、一緒に走ることで一人ではできない練習ができるようになりました。そうして高校ラストのトラックシーズンが始まり、ついに国体三連覇を掛けたレースが10月9日岩手の北上運動公園陸上競技場で行われました。今回のレースは今までにないくらい調整がうまくできていて勝てる自信がありました。レースは札幌山の手のローレンス・グレ選手が引っ張るレース展開でした。最初の1000mは2分43秒と速いペースでしたが、徐々にペースが落ちたので楽にレースを展開することができました。この大会の目標は三連覇はもちろんでしたが、「異次元の走り」をすることでした。今までにやった事のない、ラスト600mからの仕掛けをしました。広島県代表の吉田圭太選手との一騎打ちになり、終盤に自信のある私はラスト100mでもう一段落ギアを上げ、吉田圭太選手を振り切り、「国体三連覇」という目標を達成することができました。ここまでこれたのは指導して下さった松田先生、仲間、いつも応援してくれる家族の存在があったからです。卒業後は実業団に入り、上の舞台へ、上がります。私の夢は東京オリンピックでメダル獲得です。実業団に入ってからが本当のスタートだと思っています。これからまた、夢に向かって頑張っていきます。



(福島民友新聞掲載)

生涯スポーツキャンペーン2016

親子体操教室

仮設住宅訪問



親子体操教室

福島県体育協会主催の生涯スポーツキャンペーン「親子体操教室」は、今年で記念すべき10回目の開催となりました。8月28日(日)に川俣町体育館にて、「体操のお兄さん」こと佐藤弘道さんをお迎えし、親子体操教室が行われました。本事業開始以来10回目という記念すべき開催となった今回は、3～6歳の未就学児とその家族、約600名に近い申込がありました。

参加者は音楽やひろみちお兄さんのかけ声に合わせて、忍者をテーマにした踊り、バランスをとりながら親子がふれ合える体操などを通じて、楽しみながら運動に取り組みました。ひろみちお兄さんの楽しい語りとテンポのよいプログラムによって、参加者は大いに笑い心地よい汗を流しながら、あっという間に1時間が過ぎていきました。

体操教室の中で、弘前大学医学博士でもあるひろみちお兄さんから、体操を通して親子がふれ合うことで、心理的な効果もあるとの話があり、「毎日少しでも親子で体操をしながらスキンシップを図り、子どもたちからの様々な発信を受け止めてほしい」と、お父さん、お母さんへメッセージも送られました。

また、東日本大震災から5年が経過した今なお、避難されている福島県民を勇気づけるため、体操教室開催に先立って川俣町山木屋地区避難者の仮設住宅訪問も行われました。

10年間という長きにわたり、福島県の子どもたちのため親子体操教室を開催してくださったひろみちお兄さんは、「福島県で10年間も体操教室を開催できて大変うれしい。ぜひ来年も福島に元気と勇気を与えていきたい。」との言葉を残し、福島を後にされました。



仮設住宅訪問

インフォメーション

HOTNET

「HOTNET」は福島県のスポーツを応援するホームページです！

<http://www.sports-fukushima.or.jp>



(公財)福島県体育協会

E-mail:info@sports-fukushima.or.jp
〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

新規事業スタート!「子どもたちの体力向上を願って…」 — あそんで体力アップアップ事業 —

生涯スポーツ係の新規事業「あそんで体力アップアップ事業」のスタートです。

本事業は幼児を対象に、「幼児期において、遊びを中心とする身体活動を十分に行い、多様な動きを身に付けながら体力の向上を図る」とともに、「生涯にわたって健康を維持し、何事にも積極的に取り組む意欲を育むなど、豊かな人生を送るための基盤づくりを進める」ことを目的として、以下の3団体の講師を希望する幼稚園に派遣して体操教室を実施します。(幼児体操教室)

- 株式会社 こども体育研究所…手足を使った運動や投・跳運動、マット運動など
- 公益社団法人 日本3B体操協会…用具を使った運動(ベル・ベルター・ボール)
- 特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会…忍者や変身ごっこ等の模倣運動

※親子活動も可能な内容もあります。

～幼児体操教室編～

5月30日(月)福島市立森合幼稚園において、「(株)こども体育研究所」の小林先生を講師に、園児52名が活動しました。園児たちは、ジャングル探検をテーマに動物になりきって体を動かしたり、川や坂道を越えるためにマットを跳んだり転がったりと、楽しい物語をイメージしながら運動を楽しむことができました。また、お手玉を頭や足に乗せてバランスをとったり、背中やお腹に乗せて落とさないように四つん這いで移動したり、縄跳び運動や投運動と、体幹強化、バランスやリズム感覚、投運動をテーマに楽しみながら、基礎的な運動感覚に触れることができました。いずれの活動も園児は意欲的に取り組み、終了後には「もっとやりたい」、「次はいつ来るの」というような声も飛び交うなど、大盛況のうちに幕を閉じました。

震災から6年、福島県の子どもたちのたくましい未来を切り開く大きなきっかけとして、期待の膨らむひとときとなりました。今年度、森合幼稚園をはじめ20団体が実施します。



さらに、指導者を対象とした養成講習会も実施し、幼児とその指導者の両面から、福島県の課題でもある「体力向上」というニーズに応える事業です。

～指導者養成講習会～

7月30日(土)福島市吾妻学習センターにおいて、桜の聖母短期大学准教授の堺秋彦先生を講師に、指導者養成講習会が開催されました。県内各地から約20名の保育士が参加し、リズム体操や用具を使った鬼ごっこやボールゲームなど、日頃の活動で即実践できるような内容を学びました。参加者は、自ら楽しみながら体を動かし、運動の目的と楽しさを実感し、汗を流しました。



ふくしまから世界へ! 「ふくしまJアスリート」強化支援事業

「ふくしまJアスリート」とは、ふるさとに愛着心を持ち、ふるさとに勇気と希望を与え、オリンピックをはじめとする世界の舞台で活躍が期待される将来有望な選手の皆さんのことです。2020年の東京五輪開催決定を契機にスタートし、今年で3年目を迎える支援事業です。

27年度からの継続19名に加え、今年度からの新規41名の夢アスリート、日本代表を目標とした実績ある21歳以上の本県アスリート32名のJクラスアスリート、総勢92名の選手が決定しました。また、世界を目指すトップコーチ10名が新たに選出されました。



平成 27 年度より継続夢アスリート (19 名)

佐々木夢奈 (陸上競技)	渡部 佳朗 (陸上競技)	守谷 善太 (ソフトテニス)	吉田 拓実 (水泳)
渡邊 歩 (自転車競技)	渡邊 祐希 (自転車競技)	小玉 和寿 (自転車競技)	高橋 涼 (ホッケー)
志賀 秀登 (相撲)	水井ひらり (バドミントン)	福本真恵七 (バドミントン)	久保田友之祐 (バドミントン)
本田 大樹 (バドミントン)	村上 真統 (ボクシング)	瀧澤 秀斗 (柔道)	廣瀬 新 (フェンシング)
佐藤 真春 (フェンシング)	佐々木陽菜 (フェンシング)	長正 憲武 (トライアスロン)	

平成 28 年度より新規夢アスリート (41 名)

佐藤 皓人 (陸上競技)	遠藤 日向 (陸上競技)	布川 輝 (陸上競技)	田母神一喜 (陸上競技)
山下 潤 (陸上競技)	五十嵐 礼 (陸上競技)	鈴木 梨沙 (ソフトテニス)	小山 舞 (ソフトテニス)
柴崎 加奈 (ハンドボール)	阿部 奎太 (ハンドボール)	佐藤みのり (剣道)	国分 香奈 (水泳)
寺田 拓未 (水泳)	服部 翼 (水泳)	石井 洋輝 (自転車競技)	渡邊 悠 (バスケットボール)
染谷菜々美 (バドミントン)	後藤 サン (バドミントン)	内山 智尋 (バドミントン)	佐藤 杏 (バドミントン)
高橋明日香 (バドミントン)	由良なぎさ (バドミントン)	永井 瀬霧 (バドミントン)	金子 真大 (バドミントン)
仁平 菜月 (バドミントン)	山澤 直貴 (バドミントン)	吾妻 咲弥 (バドミントン)	佐藤 雄輝 (バドミントン)
渡辺 勇大 (バドミントン)	三橋 健也 (バドミントン)	大堀 彩 (バドミントン)	東野 有紗 (バドミントン)
古賀 穂 (バドミントン)	中丸 雄哉 (スキー)	長谷部宏仁 (スキー)	大嶋 柚 (スキー)
穴戸 大輔 (ウエイトリフティング)	青木 智也 (ウエイトリフティング)	佐藤 啓隆 (ウエイトリフティング)	大河内未来 (ボウリング)
小久保南海 (カヌー)			

J クラスアスリート (29 名) ※平成28年12月28日現在

山下 航平 (陸上競技)	安部 遥香 (陸上競技)	武石この実 (陸上競技)	紫村 仁美 (陸上競技)
佐藤 若菜 (陸上競技)	青木沙弥佳 (陸上競技)	千葉 麻美 (陸上競技)	小谷菜津美 (ソフトテニス)
那須 暁帆 (ソフトテニス)	大羅 夢真 (ソフトテニス)	大槻 麗 (ソフトテニス)	守永 隆 (水泳)
松居圭一郎 (バドミントン)	早田 紗希 (バドミントン)	渡部 剛弘 (スキー)	遠藤 尚 (スキー)
星野 純子 (スキー)	佐藤 瞳 (スキー)	水澤 彩佳 (スケート)	近内 三孝 (ウエイトリフティング)
田野倉翔太 (レスリング)	前田 翔吾 (レスリング)	鈴木 博恵 (レスリング)	佐藤 彰太 (フェンシング)
草野 広美 (フェンシング)	鈴木 康大 (カヌー)	鋤崎 隆也 (トライアスロン)	石塚 祥吾 (トライアスロン)
菊池日出子 (トライアスロン)			

指定トップコーチ (10名)

岡本 拓矢 (陸上競技)	大槻 三喜 (ソフトテニス)	中村 広生 (ハンドボール)	矢吹 靖弘 (自転車競技)
遠藤浩太郎 (ホッケー)	二瓶 顕人 (相撲)	渡邊 拓也 (バスケットボール)	本多 裕樹 (バドミントン)
黒澤 政弘 (スケート)	大内 康裕 (アイスホッケー)		

スタートダッシュミーティング

6月8日(水)、郡山市総合福祉センターにおいて、「ふくしまJアスリート」強化支援事業スタートダッシュミーティングが開催されました。今年度新たに指定された「夢アスリート」(41名)を代表してウエイトリフティング競技の青木智也選手、「Jクラスアスリート」(32名)を代表して陸上競技の千葉麻美選手に指定証が交付され、「ふくしまJアスリート」を代表して、スキー競技の大嶋柚選手より力強い決意表明がありました。

オリンピック柔道メダリスト田辺陽子氏より、「二つの銀メダル」という演題で講演をいただき、福島大学教授白石豊氏より、「『ベストを尽くす』の本当の意味」の題で講義も行われました。

参加した「ふくしまJアスリート」は、この事業の目的を改めて認識するとともに、自らの夢の実現に向けて、最高のスタートダッシュを切ることができました。



「ふくしまJアスリート」ふれあい教室(カヌー競技)

9月4日(日)、二本松市阿武隈漕艇場において、夢アスリートの小久保南海選手を招き、「ふくしまJアスリート」ふれあい教室が開催されました。この他、ウエイトリフティング競技、ボクシング競技でも実施されました。



「マルチサポート事業」メディカルチェック

7月から公立藤田総合病院において、「メディカルチェック」前期の部(7～9月の期間で実施)がスタートしました。内容は、内科・整形外科的メディカルチェック、コントロールテスト、栄養チェック、アンチドーピング啓蒙です。参加したアスリートは、自分の身体の特徴や強化すべき部分を知ったり、昨年度のデータとの比較をしたりしながら、今後のパフォーマンス向上への意欲を高めることができました。後期は、2、3月に実施の予定です。



「トップコーチ養成事業」基礎研修・課題解決研修

ふくしまから世界へ！「ふくしまJアスリート」強化支援事業「トップコーチ養成事業」基礎研修が、6月13日(月)福島テルサにおいて行われました。講師には、日本スポーツ振興センター副センター長の勝田隆氏をお招きして、指定された県内トップコーチが研修を行いました。

また、11月2日(水)福島テルサにおいて、課題解決研修が開催されました。研修会には指定を受けたトップコーチの他に、県内で活躍されている指導者を含むおよそ30名が参加しました。講師として、福島大学教授で福島県体育協会常務理事の白石豊氏をお招きし、「スポーツ指導 その技と心」と題して講義をいただきました。

総括研修は、年明け2月下旬を予定しています。



日体協公認アスレティックトレーナー (JASA-AT) 東北・北海道ブロック連絡会議・セミナー 兼 県体協認定アスレティックトレーナー (AT) 養成講習会

東北・北海道ブロックにおける公認ATの自己研鑽、資質向上、継続教育、指導体制づくり等の情報交換を目的とした連絡会議ならびにセミナー、それに兼ねて県体協認定AT養成講習会が開催されました。

期 日 11月19日(土)～20日(日)

会 場 福島テルサ

講 師 【11月19日】

堀川哲男先生(公立藤田総合病院)
小林光幸先生(ラソラックス鍼灸整骨院)
中澤 謙先生(会津大学文化研究センター)
鬼澤武則先生(おにざわ接骨院)
吉田仁郎先生(ARCクリニック)

【11月20日】

大歳憲一先生(福島県立医科大学)
野口まゆみ先生(西口クリニック)
山崎有理子先生(公立藤田総合病院)
水野兼志先生(みずの内科クリニック)

内 容 【11月19日】

○県体協認定AT養成講習会
○東北・北海道ブロック連絡会議

【11月20日】

○東北・北海道ブロックセミナー
兼 県体協AT養成講習会

連絡会議には各県代表 JASA-AT13名が、セミナー兼養成講習会には JASA-AT18名、日体協公認コーチ・上級コーチ 15名、県認定 AT受講者 16名が参加し、4年に一度の義務研修または公認取得を目指す目的で研修を行いました。認定 ATには今後の現場でのさらなる活躍、受講者には公認取得へ向け、スキルアップされることを期待しています。

遠方からの参加者もあり、「セミナーに参加してとてもよかった。来たかいがあった」等の声が聞かれました。



ブロックセミナー



養成講習会



連絡会議

平成28年度 (公財) 福島県体育協会認定スポーツ栄養士養成講習会

今年度スタートした新規事業です。スポーツ愛好者、競技者のスポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートをするスポーツ栄養士を養成することを目的として実施しました。

期 日 7月9日(土)～10日(日)

会 場 福島県青少年会館

講 師 【7月9日】

野口まゆみ先生(西口クリニック婦人科) ①
中村 啓子先生(福島学院大学短期大学部) ②

【7月10日】

山崎有理子先生(公立藤田総合病院) ③
安田 俊広先生(福島大学人間発達文化学類) ④
佐藤 善嗣先生(福島県薬剤師会) ⑤

内 容 スポーツ栄養士の役割、スポーツ栄養マネジメント、アンチ・ドーピング、女性アスリートの特性、運動生理・生化学、食事管理・栄養指導法などについて、研修を深めました。受講者は資質向上に努めようと講義中はもちろん、講義後も講師の先生に質問をしたり受講者同士で情報交換をしたりするなど、意欲的に取り組んでいました。

受講された 10名(3月のスポーツ栄養士部会にて認定予定)には、今後福島県スポーツ栄養士部会の活動や研修会等を通して、情報の提供・交換・共有を図り、競技力向上や生涯スポーツの振興に努めていただきたいと思います。



①



②



③



④



⑤

うつくしま広域スポーツセンター

クラブマネジャー養成セミナー

平成28年度うつくしま広域スポーツセンタークラブマネジャー養成セミナーを6月19日(日)、7月3日(日)の2回に渡り、福島市男女共同参画センター「ウィズ・もとまち」で実施しました。県内各地から、総合型スポーツクラブに携わっている方、設立に向けて準備に携わっている方、市町村の生涯スポーツ担当者の方、体育協会の方等、19名の参加があり、受講者は熱心に講師の先生の話に耳を傾けていました。グループワークでは積極的に意見交換を行い、お互いの交流を深めるとともに、マネジメントのスキルやコミュニケーションスキルの向上を図っていました。

<第1回 6月19日(日)>

- ① 「総合型スポーツクラブとは」「総合型スポーツクラブの現状」
講師：福島県教育センター 研究・研修部 教員研修チーム 鈴木 一憲 氏
- ② 「クラブマネジャーの役割」
講師：早稲田大学スポーツビジネス研究所 招聘研究員 松澤 淳子 氏
- ③ クラブマネジャー講話
講師：NPO法人さめがわスポーツクラブ クラブマネジャー 阿久津 光市 氏



鈴木氏による講義・ワーク



松澤氏による講義・ワーク



阿久津氏による講話

<第2回 7月3日(日)>

- ① 「クラブの運営」「法人格の取得」
講師：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課 横田 雅之 氏
- ② クラブマネジャー講話
講師：NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF 副理事長 菊地 正 氏
- ③ 「クラブのつくり方」「クラブの運営」
講師：NPO法人スポーツコミュニケーションかくだ クラブマネジャー 遠藤 良則 氏



横田氏による講義



菊地氏による講話



遠藤氏による講義



今年度は19名の方が受講し、18名の方が修了されました。本県においてのセミナー修了者は、累計485名になりました。



フォローアップセミナー

7月24日、福島市男女共同参画センター「ウィズ・もとまち」にて、平成28年度総合型地域スポーツクラブフォローアップセミナーを開催しました。県内各地から、総合型スポーツクラブに携わっておられる方19名の参加があり、講師の先生の話に熱心に耳を傾けていました。

今回のセミナーのテーマは『人』です。クラブの最大の財産は人材であり、どんな視点をもって人とつながればいいのか、どのようなコミュニケーションにより良好な関係を築いていくのか、組織的な意思決定にはどのような手法があるのか等を講義やグループワークを通して学ぶことができました。内容は以下の通りです。

① 「人と人をつなぐクラブライフ」

講師：茨城大学教育学部 特任准教授 長谷川 幸介 氏

② 「人材活用とみんなが参画する意思決定方法」

講師：順天堂大学スポーツ健康科学部 准教授 水野 基樹 氏

③ 「人と人をつなぐコミュニケーションの手法」

講師：うつくしま広域スポーツセンター クラブアドバイザー 半澤 由美子



長谷川氏による講義



水野氏による講義・演習



半澤CAによる演習

各種団体連携事業＜福島県レクリエーション協会との連携事業＞ ～高齢者の体力維持に関する連携～

うつくしま広域スポーツセンターの各種団体連携事業は、昨年度「企業とクラブ」・「大学とクラブ」の連携をテーマに、(株)朝日ラバーと東日本国際大学と連携し事業を開催してきました。今年度は、福島県レクリエーション協会との連携により、高齢者の体力維持を目的として、NPO法人ひめさゆりくらぶとやまとスポーツクラブのご協力の下、喜多方市内各会場にて行われています。この事業は両クラブ開催各4回、合同開催4回の計12回の実施となっています。どの教室でも、高齢者の方の笑顔があふれる有意義なものとなっています。本事業を機に、多くのクラブで県レクリエーション協会との連携が図られることを期待しております。

＜NPO法人ひめさゆりくらぶ開催（喜多方市熱塩加納町内）＞

11月12日(土) 1月13日(金) 1月下旬予定 2月中旬予定

＜やまとスポーツクラブ開催（喜多方市山都町内）＞

7月2日(土) 8月24日(水) 12月8日(木) 12月17日(土)

＜NPO法人ひめさゆりくらぶ・やまとスポーツクラブ合同開催（旧喜多方市内）＞

9月7日(水) 10月24日(月) 12月21日(水) 1月17日(火)



県レクリエーション協会 原恵氏による教室の様子



グループ対抗戦を取り入れるなど、いつも楽しい雰囲気の中、活動しています。

みんなで作ろう総合型！
総合型地域スポーツクラブ

おおみか

太田大甕スポーツクラブ



フロアーカーリング



テニスサークル

太田大甕スポーツクラブは南相馬市の原町第三中学校屋内体育館を利用して学区内の皆様がいつでも、どこでも、だれでもが生涯スポーツを楽しみ、世代間交流ができる場として平成13年4月に設立しました。3.11の東日本大震災により会員の多くの方が津波による被害と原発事故により避難することになり2年間活動を中止しました。その後クラブを再開しましたが地域住民の避難等に伴い会員数が大幅に減少しました。現在は震災前の5割まで回復しましたが、吹き矢サークル、ペタンクサークル、インディアカサークルは再開できない状況です。現在は地区運動会運営支援の他、2つのバドミントンサークル、なわとびサークル、テニスサークル、パナソニックからの支援事業、ニュースポーツ交流、スポーツフェスタ、ボウリング大会、スキー教室等の各種事業を実施しています。特にバドミントンは各種大会で上位入賞を果たすなど更なる活躍を期待しているところです。子どもから大人まで楽しみながらスポーツに親しむ環境づくりを目指し活動しています。

定期活動

- ・ジュニアバドミントン
- ・テニス(硬式)
- ・スポ少の活動
- ・シニアバドミントン

各種イベント

- ・パナソニック支援事業
- ・ウォーキングとぶどう狩り
- ・スポーツフェスティバル

地域行事

- ・小学校と地区運動会
- ・文化祭への協力



風船玉入れ



ペタンク



スポーツフェスタ開会式



地区運動会



スキー教室(会津坂下)



パナソニック支援事業



バドミントンサークル



親子ボウリング大会

お問い合わせ先

太田大甕スポーツクラブ
〒975-0032
福島県南相馬市原町区桜井町 2-200
南相馬市スポーツセンター内
TEL0244-22-8951 FAX0244-22-8953
Email qqzn7yk9k@forest.ocn.ne.jp



なわとびサークル



ミニテニス教室

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター(県体育協会事務局内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
<http://www.u-kouiki.jp> E-mail:utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680 FAX 024-526-4681

リオデジャネイロパラリンピックボート競技事前合宿実施

リオデジャネイロパラリンピックボート競技日本代表チームが、県営荻野漕艇場にて最終合宿を実施しました。パラリンピックでは、残念ながら入賞を逃しましたが、福島県では東京大会に向けて、今後も日本代表チームのサポートを続けていきます。

- 期 日** 8月8日～8月23日(16日間)
会 場 県営荻野漕艇場(喜多方市高郷町)
選 手 駒崎 茂・有吉利枝(男女混成ダブルスカル)
ヘッドコーチ 大戸淳之介(日本パラローイング協会強化委員、日本ボート協会指導者育成スタッフ、日本体育協会公認スポーツコーチ【ボート】)



リオデジャネイロボート会場にて



成田空港出発ロビー



知事激励、地元の方々と一緒に



県産桃の差し入れ



地元高校生による歓迎式



荻野漕艇場での練習風景

東京2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが福島県にやってきました。

11月2日に行われたセレモニー(福島県庁前広場)では、小池東京都知事、丸川東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、福島県ゆかりのアンバサダー(オリンピック・パラリンピアン)の方々から内堀知事にオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが引き継がれました。フラッグは県庁での展示のあと、県内6市町を巡回しました。

県では、今後、東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、さまざまな機会を通して県内での大会機運を盛り上げていきます。



フラッグ入場(小池知事)



小池知事、内堀知事とアンバサダー(増子さん)



内堀知事とオリンピックアンバサダー(小谷さん、萩原さん、窪木さん)



フラッグを持つ子ども達



子ども達と一緒に(小池知事、内堀知事、丸川大臣、小谷さん、萩原さん)



県庁2Fでの展示の様子

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

(株)福島中央テレビ
福島テレビ(株)
福島トヨタ自動車(株)
(株)福島放送
(一財)ふくしま未来研究会
福島民報社
福島民友新聞社
福浜大一建設(株)
公立藤田総合病院
(株)マルト
(株)モリヨシ技研
山木工業(株)
(株)ヨークベニマル
若松測量設計(株)
(株)渡辺組
※他に匿名希望 2 法人・団体

富士ゼロックス福島(株)
(公財) 藤田教育振興会
(株) 藤野
(有) 古川瓦建材
北斗印刷(株)
堀江工業(株)
(株) マルコ物流
(株) 丸福織物
(株) 丸や運送
みずの内科クリニック
(株) 三宅新聞店
名鉄銀光サービス(株) 福島支店
(株) メディア・ネットワーク
(株) ヤスタ創建
(株) 山口工芸
山田建築(株)
(株) 友愛
(株) ル・プロジェ
六陽印刷(株)
ワイヂーエル(株)
ワタナベカーベット(株)
※他に匿名希望 6 法人・団体

絃夫志仁希望
俊一勝修正正名
崎卷城沢邊に匿
森八結米渡渡※他4名

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体活動中の事故/
往復中の事故

4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

保険期間

平成29年4月1日午前0時から
平成30年3月31日午後12時まで



加入区分・掛金・補償額

加入 対象者	補償対象となる団体活動	加入 区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生 以下) ※特別支 援学校 高等部 の生徒 を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450 円	2,100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同様	3,150 万円	5,000 円	2,000 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人 1億500万円)	葬祭費用 180万円
大人 (高校生 以上)	スポーツ活動	C 64歳以下	1,850 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円) ⚠️ 自動車事故に よって賠償責任 を負った場合は、 補償の対象とな りません。	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動の指導・審判 ※右記年齢の判断は、「平成29年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200 円	600 万円	900 万円	1,800 円	1,000 円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円		
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000 円	500 万円	750 万円	1,800 円	1,000 円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。



公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町5-75 福島県庁東分庁舎3号館

TEL 024-526-4600 電話受付時間 午前9時～12時 午後1時～5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全協会

検索

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(平成29年4月)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上